

# 待機児童解消に向けた子育て支援制度の充実について

【担当省庁：内閣府、厚生労働省】

## 1 保育士の確保・定着

保育士の安定的な確保に向けて、保育士が長く働き続けられるような職場環境の改善が必要であるため、以下の施策を講じていただきたい。

- 保育士の労働意欲を高め、離職者の復職を支援するため役職や職務に応じて求められる役割や資質、資格、研修受講等を盛り込んだ「キャリアパス」を全国共通の制度として構築し、それに応じた処遇が公定価格に反映されるようにしていただきたい。
- 保育士の給与水準の更なる改善を図るために公定価格の見直しを含めた適切な財政措置をしていただきたい。
- 広く社会全体に対して保育の仕事への理解と魅力を発信していく取組みを支援していただきたい。

京 都 府 の 担 当 課	健康福祉部 こども総合対策課 (075-414-4631)
------------------	-------------------------------

### ■京都府の保育士求人倍率は約2.4倍となっている

保育士	全職種
2.41倍	1.56倍

※一般職業紹介状況（職業安定業務統計）（平成29年2月分）

### ■全職種と保育士の給与差の状況

▶ 保育士の給与は年間で160万円以上低い状況

	平成27年	平成26年	前年度増減
全体	489.2万円	479.7万円	9.5万円
保育士	323.3万円	316.7万円	6.6万円
差額	165.9万円	163万円	2.9万円

※厚生労働省 平成26、27年度賃金構造基本統計調査

### ■保育士のキャリアアップの仕組みにおける課題

国のキャリアアップの仕組み	京都式キャリアパス
▶ 経験年数と研修終了のみがキャリアアップの要件  (課題) ▶ 各キャリアの職務内容や昇進要件等が不明確で、実際に個々の職員の処遇を上げる際の判断基準がないため、各施設においてキャリアパスを構築することが困難  ▶ 公定価格における処遇改善額に上限が設けられており、キャリアアップにより処遇改善できる職員数が限られている	※よりきめ細かく職階、能力、資格等で区分  ▶ 技能や経験等に応じて職階を整備し、それに見合った研修を提供  ▶ 各施設で共通した職位や役割、職務内容、昇進に必要な要件を盛り込んでいる